

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-192024

(43)Date of publication of application : 09.07.2003

---

(51)Int.Cl.

B65D 75/32

B65D 25/20

---

(21)Application number : 2001-398782

(71)Applicant : OKURA IND CO LTD

(22)Date of filing : 28.12.2001

(72)Inventor : KOBAYASHI HIRONORI

---

## (54) BLISTER MOUNT PAPER

### (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a blister mount paper suitable for a blister package, the mount paper being excellent in designability that cannot be realized with a conventional blister mount paper, while solving the problem that it is difficult for a paper board or a composite paper used for a conventional blister mount paper to provide a blister package with strongly impressive and impact-giving design, though it is possible to print on both faces thereof.

SOLUTION: The blister mount paper is characterized in that its thickness is 50-200  $\mu\text{m}$  and that, in particular, it is composed of a transparent plastic sheet whose surface opposite to the face on which a dome is stuck is printed.

---

## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

29.11.2004

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2003-192024  
(P2003-192024A)

(43) 公開日 平成15年7月9日(2003.7.9)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テ-マ-ト* (参考)
B 6 5 D 75/32		B 6 5 D 75/32	3 E 0 6 2
25/20		25/20	Q 3 E 0 6 7

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全 2 頁)

(21) 出願番号	特願2001-398782(P2001-398782)	(71) 出願人	000206473 大倉工業株式会社 香川県丸亀市中津町1515番地
(22) 出願日	平成13年12月28日(2001.12.28)	(72) 発明者	小林 広紀 香川県丸亀市中津町1515番地 大倉工業株式会社内
		Fターム(参考)	3E062 AA20 AB07 AC02 AC08 DA01 DA02 DA09 3E067 AA11 BA15A BB14A CA11 EA04 EA29 EB27 EC08 EE02 FA01 FB02 FC01 GD05 GD09 GD10

(54) 【発明の名称】 ブリスター台紙

(57) 【要約】

【課題】従来からブリスター台紙として使用されている板紙や合成紙が両面に印刷を施すことができる反面、印象性の強いインパクトのあるデザインのブリスターバックを提供することが困難であったのを解決して、従来知られているブリスター台紙では現出できない意匠性に優れたブリスターバックに好適なブリスター台紙を提供すること。

【解決手段】厚みが50～200μmであって、特にドームを貼着する面の反対側の表面に印刷が施されたプラスチックシートからなり、該プラスチックシートが透明であることを特徴とするブリスター台紙。

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】厚みが50～200 $\mu$ mであって、表面に印刷が施されたプラスチックシートからなり、該プラスチックシートが透明であることを特徴とするプリスター台紙。

【請求項2】印刷がプラスチックシートのドームを貼着する面の反対側の表面に施されていることを特徴とする請求項1記載のプリスター台紙。

【請求項3】淡色に着色されていることを特徴とする請求項1又は2記載のプリスター台紙。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明が属する技術分野】本発明は、背面部からも内容物の確認をすることが可能であり、しかも意匠性に優れたプリスター台紙に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、プリスター台紙には厚紙或いは内部に空洞を含有する白色ポリオレフィン系フィルム等からなる合成紙が使用されていた。そして、プリスター台紙の表面には被包材たる商品の販売促進を図るための印刷を施す一方、裏面には取扱いにおける注意事項や原材料名等を印刷できるように、すなわち両面印刷が可能な不透明な基材を使用することがいわば常識とされていた。

【0003】しかしながら、このようなプリスター台紙を使用したのでは、被包材たる商品の裏面側からの確認が出来ないばかりか、単に印刷のデザインを工夫しただけでは変わり映えせず多数の商品の中から選択されるような斬新な意匠性に優れた陳列をすることは不可能であった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、上記問題点を解決して意匠性に優れたプリスターバックに好適なプリスター台紙を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】すなわち、本発明は

(1)厚みが50～200 $\mu$ mであって、表面に印刷が施されたプラスチックシートからなり、該プラスチックシートが透明であることを特徴とするプリスター台紙。

(2)印刷がプラスチックシートのドームを貼着する面の反対側の表面に施されていることを特徴とする(1)記載のプリスター台紙。

(3)淡色に着色されていることを特徴とする(1)又は(2)記載のプリスター台紙。

をその要旨とするものである。

【0006】

【発明の実施の形態】以下に、本発明の実施の形態につ

いて詳細に説明する。本発明のプリスター台紙に使用するプラスチックシートとしては、例えば、塩化ビニル樹脂、ポリエステル、ポリスチレン、ポリプロピレン等の公知のプラスチックシートが特に制限なく使用できるが、プリスター台紙がある程度以上の腰の強さを要求する関係上ヤング率が1200MPa以上のプラスチックシートを使用するのが好ましい。また、これらのプラスチックシートを製造する際に、透明性を損なわない範囲で上述したプラスチック原料に各種染料、顔料等の着色剤や各種充填材を配合することも勿論可能である。特に、着色したプラスチックシートをプリスター台紙として使用するとプリスターバックの意匠性が更に向上するので好ましい。このようなプラスチックシートは押出成形法、カレンダー加工等の従来公知の成形加工方法で製造することができる。

【0007】更に、これらのプラスチックシートの厚みは50～200 $\mu$ m、好ましくは100～180 $\mu$ mの範囲とすることが好ましい。この厚みが50 $\mu$ m未満ではプリスター台紙としての腰が不足するので好ましくなく、200 $\mu$ mを越えると樹脂使用量が多くなってコストアップの要因となるので好ましくない。

【0008】また、本発明においては、上述したプラスチックシートの表面に印刷を施したものをプリスター台紙として使用するのである。このような印刷は、プラスチックシートのドーム部分を貼着する側の面、或いはその反対側の面のいずれに施してもよいが、接着性その他の理由からドーム部を貼着する側の反対側の面に施すことが好ましい。

【0009】そして、本発明においては、この印刷が施されたプラスチックシートが透明である点に最大の特徴を有するものである。なお、本発明でいう透明とは一方の側から見て反対側が透けて見える程度以上の透明性を有していることを意味しており、また、不透明な部分を多少有していることも包含するものである。したがって、例えば、部分的に白ベタ印刷を行い、その部分には裏面側から読みとり可能な印刷を施すことも勿論可能である。

【0010】

【発明の効果】本発明のプリスター台紙は印刷が施されたプラスチックシートが透明であるので、元々透明なドーム部と貼り合わせたプリスターバック全体が透明で内部の被包材が浮き出た感じを現出する意匠性に優れたプリスターバックを提供することが可能となった。したがって、多数の商品の中で消費者に大きなインパクトを与えるデザインを設計することが可能となった。また、副次的に内容物を裏面側からも確認できる包装を提供することが可能となった。